

第3回 賀茂幼児園保護者説明会について（会議録）

【日時】 令和8年9月2日（水）16時

【場所】 賀茂幼児園 遊戯室

【出席者】 保護者7名、市議会議員1名、賀茂地区ふるさと創造会議代表1名、同副代表1名

教育委員会事務局 部長以下4名 園職員5名

1 閉園方針の説明

- ・ 閉園時期を、当初の「令和13年3月末」から「令和11年3月末」に変更します。
- ・ ①転園検討時の園見学や一時預かり料金の市による全額負担、②希望園への確実な入園調整、③転園先への綿密な情報引継ぎ④公立園転園時における担任教諭等の同行異動、⑤服や園指定用品等の費用補助の5つ支援策を令和8年度より実施します。
- ・ 現3歳児以上のお子様については引き続き受け入れをします。
- ・ 現2歳児以下のお子様については、途中で転園となるため、受け入れをしません。

2. 質疑応答

- ・ 現在の3歳児が卒園する際には園児数が大幅に減少していることが予想される。最後の卒園生が寂しい思いをすることなく、誇りをもって巣立てるよう、閉園式、卒園式には地域住民や過去の卒園生の保護者なども広く参加できるよう十分に配慮してほしい。
- 小学校の閉校式の事例も参考にしながら、子どもたちを温かく盛大に送り出せるような方法について、園の担当教諭等と検討を進めます。
- ・ 転園を検討するための見学時等に発生する一時預かり料金は市が全額負担するとのことだが、どのように請求や精算の手続きを行えばよいか。
- 公立園を利用する場合は、保護者側での請求手続きが発生しない仕組みを考えます。私立園を利用する場合も、園からこども未来課へ直接請求してもらう方法を考えます。
- ・ 体験見学や一時預かりの予約は、保護者が直接希望園へ連絡して調整を行う必要があるのか。また、新しい環境へスムーズに移行できるよう、友達と一緒に見学ができるよう調整してほしい。
- 現在、申請用のWebフォームを準備しており、保護者が直接各園に電話するのではなく、フォームに入力された希望日に基づいて市が各園と調整し、その結果を保護者に連絡する方法を検討中です。友達と同じ日程で見学したいというご要望についても、転園先の園と柔軟に調整・連携を行う予定です。
- ・ 「確実な引き継ぎ」について、現在の担任教諭と転園先の教諭が直接対面して情報共有を行うのか。また、家庭内での様子以外に、幼児園での日常生活や個別の心理的特徴、

遊び、対人関係など、細かい配慮はどのように引き継がれるのか。

→食事面や人間関係、遊びの特徴、個々の子どもの特性や対人関係に至るまで、園生活におけるすべての情報を転園先の教諭に対面等で確実にお伝えします。園同士でしっかりと連携し、新しい環境へスムーズに馴染めるよう責任をもって引き継ぎます。

・賀茂小学校および賀茂幼児園の閉校・閉園後、施設が放置され荒廃することを懸念する。在園児がいる段階から、民間委託や企業への売却、ふるさと創造会議によるリース契約や週末マルシェ等、早期に具体的な跡地活用策を検討すべきである。

→現在、小学校跡地の活用については各校区で協議を行い、地域ごとに検討を進めています。賀茂地区についても、ふるさと創造会議や都市計画課と連携し、地域の意向を踏まえて計画を進めていくことになります。

・教育委員会は事務作業のみならず、閉園を控えた園や困難な状況にある小学校など、実際の教育現場へ直接足を運んで、現状をしっかりと把握すべきである。

・今後の小中学校等の統合の話し合いにおいて、一方的な決定や早急な通達ではなく、きめ細かな根回しや保護者への事前の配慮を行い、対立を招かない丁寧な説明会運営と合意形成に努めてほしい。

→いただいたご意見を教訓とし、当事者の不安に寄り添い、丁寧な対話、合意形成に努めていきたいと考えます。

3. まとめ

出席された保護者、地域の皆様から、今後の支援等についてご質問をいただきましたが、閉園時期や方針についての反対意見はなく、ご理解を得られたと判断し、第3回の保護者説明会を終了しました。今後は、転園に向けて安心して新しい園に通えるように支援をするとともに、在園児と保護者が安心して賀茂幼児園に通えるよう努めてまいります。